

第2回奈良のお薬師さん大賞 受賞者

みやぎ のぶゆき

○宮城 信行さん（68歳 天理市在住） 医師 宮城医院院長

昭和63年から天理市において、多忙な一般診療に従事されながら、積極的に在宅医療にも取り組まれ、同市からの地域包括支援センター事業において、指導的な役割を果たし、高齢者の生活支援に資することに努められました。また、学校保健の分野でも、長年にわたり市内の小・中学校等の学校医を務められました。天理地区医師会会長としても、平成27年度に在宅医療依頼窓口の設置や訪問診療体制の整備などを進められ、地域包括ケアシステムの構築の基礎を築かれました。

たけだ いちろう

○武田 以知郎さん（57歳 広陵町在住） 医師

明日香村国民健康保険診療所所長

自治医科大学卒業後、天川村や大塔村の山間部に勤務され、県立五條病院でもへき地医療支援部長としてへき地医療にご尽力されました。平成15年からはへき地医療を支援する（社）地域医療振興協会に招聘され、山添村での勤務のほか、同協会近畿地域支援センター長として全国的にも地域医療を支援されています。平成22年からは明日香村国保診療所長に就任され、地域包括ケアの推進のみならず「地域医療ワークショップ」など地域医療教育にも貢献され、地域医療全体に幅広くご尽力されておられます。

おかい いなお

○岡井 稲郎さん（80歳 奈良市在住） 田原地区自治連合会顧問

昭和58年から田原地区の自治会役員として、様々なボランティア活動の中で、地域の在宅療養者の見守りや生活支援を続けてこられています。また、田原の自然の植物を活用して薬や健康食として、地域住民に提供されたり、平成17年からは農産物の販売する「ホットステーション」を開催し、地域づくりにも貢献されてきました。田原地区にある特別養護老人ホームのあじさい園においても、餅つきや敬老会などの行事に参加され、住みよい地域づくりに努めておられます。

ふくもと はつね

○福本 初根さん（58歳 上北山村在住） 看護師

上北山村国民健康保険診療所勤務

昭和58年から上北山村国保診療所で勤務され、勤務当初は救急搬送も困難であった環境の中、救急処置にも多く携わり、入院患者の受入にもご尽力されました。ターミナルケアや看取りにも携わり、患者や家族に対し親身に向き合いながら、医療と介護サービスの架け橋となり、患者が住み慣れた地域で穏やかな余生が過ごせるよう支援してこられました。看護業務以外でも、自宅訪問を通じて、村民の声を聞き、その情報を医師と共有して診察や治療に役立てるなど、きめ細やかな活動を続けてこられています。